

◆ 4 年部会で教材化した「地域の発展に尽くした人々」の事例 ◆

◆教材化に当たって◆
 ○子どもにとって身近なできごとか。
 ○先人の働きが今も生きているか。
 ○調べられる資料があるか。
 ○先人の強い信念、情熱が感じられるか。感動できるか。

〈玉川兄弟と玉川上水〉

・江戸の水不足を救い、現在の下水道のもととなる玉川上水をつくった玉川兄弟

〈東京のまちをきずいた人 後藤新平〉

・関東大震災後の復興のリーダーとなり、現在の東京の礎を築いた後藤新平

〈青山士と荒川放水路〉

・明治 43 年の大洪水を契機に、東京の東の地域を襲う度重なる洪水から守るために現在も生きる荒川放水路を築いた青山士

〈産業の発展に尽くした渋沢栄一〉

・明治初期に、銀行、製紙工場、ガス等多種多様の産業を興し、現在につながる豊かな東京の発展に貢献した渋沢栄一

〈井澤弥惣兵衛と小合溜井〉

・江戸時代、葛飾・江戸川地域に必要な水を確保し、農業生産を安定させるために小合溜井（現在の水郷公園である水元公園）や上下之割用水を開削した井澤弥惣兵衛

〈日本最初の地下鉄道 —地下鉄の父 早川徳次—〉

・混雑する市電の問題などの大正の頃の東京の交通事情を解消し、生活を豊かにするために日本初、東洋初の地下鉄銀座線（昭和 2 年上野～浅草間開通）をつくった早川徳次

〈ききんを救え～川崎平右衛門と武蔵野新田～〉

◆ 「地域の発展に尽くした人々」に関する主な参考資料（○）・HP（◎）博物館（■）等 ◆

〈玉川兄弟と玉川上水〉

- 東京都水道歴史館（文京区本郷 2-7-1） ※ライブラリーがあります。
- 羽村市郷土博物館（羽村市羽 7 4 1） ■羽村取水堰・玉川上水・水喰土公園
- HP 東京都水道局 玉川上水※広報用ビデオ「玉川兄弟」ダウンロードができます。リンク集があります。
- 玉川上水 その歴史と役割 ※郷土資料館で購入できます 羽村市郷土博物館
- 玉川上水一親と子の歴史散歩 比留間 博 たましん地域文化財団
- 玉川上水と分水 小坂 克信 新人物往来社
- 玉川兄弟—江戸上水物語 杉本 苑子 文春文庫

〈東京のまちをきずいた人 後藤新平〉

- 東京都復興記念館・東京都慰霊堂（墨田区横網 2-3-25） ■復興小学校・橋梁・公園
- ※ガイダンス映像「炎の記憶」DVD、冊子「忘れない。伝えたい。」等の購入ができます。
- HP 東京都復興記念館 ※展示品データベース、ガイダンス映像「炎の記憶」がダウンロードできます。
- 東京都江戸東京博物館（墨田区横網 1-4-1） ※図書室があります。
- 市政専門図書館（公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所）（千代田区日比谷公園 1-3）
- 奥州市立後藤新平記念館（岩手県奥州市水沢区大手町 4-1）
- HP 奥州市立後藤新平記念館※収蔵品データベース、絵物語、新平の声がダウンロードできます。
- 東京都市計画物語 越澤 明 ちくま学芸文庫
- 東京人 特集「生誕 150 年 後藤新平」2007 No.245 都市出版
- 太陽の地図帖 復興建築の東京地図—関東大震災後、帝都はどう変貌したか— 平凡社
- 小説後藤新平—行革と都市政策の先駆者— 郷 仙太郎 学陽書房

〈青山士と荒川放水路〉

- 荒川知水資料館（北区志茂 5-4-1-1） ■荒川放水路（荒川）・岩淵水門（赤水門・青水門）
- HP 荒川知水資料館 ※荒川の概要と歴史に関するパンフレットや冊子がダウンロードできます。
- 土木学会附属土木図書館（新宿区四谷 1 丁目 外濠公園内）
- 荒川放水路物語 絹田 幸恵 新草出版
- 写真集 青山士/後世への遺産 青山士写真集編集委員会 山海堂
- 評伝 技師・青山士の生涯 高崎 哲郎 講談社
- 評伝 技師 青山士—その精神の軌跡 高崎 哲郎 鹿島出版会
- 海をわたり夢をかなえた土木技術者たち（土木の絵本） 全国建設研修センター
- 荒川新発見 東京新聞「荒川」取材班 東京新聞出版局
- 熱い河 三宅 雅子 講談社
- 足立区・葛飾区・江戸川区の社会科の副読本

〈産業の発展に尽くした渋沢栄一〉

- 渋沢史料館（北区西ヶ原 2-16-1） ■第一国立銀行跡（表示あり・兜町）
- HP 渋沢史料館（北区西ヶ原 2-16-1） ※渋沢栄一に関する書籍、図録、冊子等が購入できます。
- 渋沢栄一記念館（埼玉県深谷市下手計 1204）
- HP 渋沢栄一記念館 ※渋沢栄一に関するパンフレットがダウンロードできます。
- 渋沢栄一のこころざし 山岸達児 銀の鈴社

◆小単元の主な流れ及び授業づくりのポイント◆

<目標>地域の発展に尽くした先人の働きに関心を持ち、調査・見学したり、資料を活用したりして調べ、先人の働きや苦心によって、地域の人々の生活が向上したこと、そのことが現在の地域社会の人々の生活につながっていることを理解するとともに、先人や地域の人々の思いや願い、今後の地域社会のよりよい発展について考える。

	主な学習活動	※資料の例 ◇評価
つかむ ① ②	<p>○今も身近に見られる先人の働きと自分の生活とのかかわりについて気付いたことを発表し合う。</p> <p>○先人が開発する前の昔の大変だった様子について資料を基に読み取り、当時の地域の人々の思いや願いを考え、吹き出しに書く。</p>	<p>※現在の下水道と玉川上水、江戸の水売りの絵や写真・東日本大震災と関東大震災の絵や写真・現在の隅田川や荒川放水路、明治43年の洪水のの写真や被害地図</p> <p>◇【関・意・態】今と比べて昔の地域の様子に関心をもっている。</p>
	<p>○開発後に変化した地域の様子を読み取り、変化した理由について話し合う。</p> <p>○地域の様子が変化した理由に当たる先人の働きの大きさについて、資料を基につかむ。</p> <p>○誰が地域の発展に尽くしたのかを知り、学習問題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○○○○は、どんな思いで、どのようにして～をつくったのだろうか。</p> </div> <p>○学習計画を立てる。</p>	<p>※水を使っている江戸の人々の絵、玉川上水の復興後の東京の写真、洪水が減少した様子のグラフ</p> <p>※玉川上水や復興した東京のまち、荒川放水路の大きさが分かる写真や地図・先人の写真や年表</p> <p>◇【思・判・表】地域の発展と先人の働きについて学習問題や学習計画を考え、表現している。</p>
調べる ③ ④ ⑤ ⑥	<p>○学習計画に沿って、博物館を見学する、副読本や各種資料を活用する、工事の体験をするなどして、先人の働きについて調べ、ワークシートやノートにまとめる。</p> <p>例 ・どのようにコースを決めたか</p> <p>・工事の様子</p> <p>・つくられた建造物や使われた技の様子</p> <p>・立ち退いた人々の様子 など</p> <p>○調べたことから先人の努力や苦心、工夫、思いや願いについて考え、吹き出しに書く。</p> <p>○先人の開発後、生活が変化した地域の人々の思いを考え、話し合う。</p>	<p>※博物館の見学、学芸員さんの話・工事の様子の写真、絵、模型・道具の実物、写真、絵コースや立ち退いた様子が分かる地図・副読本・VTR</p> <p>◇【技】【思・判・表】先人の働きについて必要な情報を集め、読み取ってノート等にまとめ、努力や苦心、工夫、思いや願いを考え表現している。</p>
まとめる ⑦ ⑧	<p>○学習問題について分かったことをまとめ、作品に表現する。</p> <p>例 ・紙芝居</p> <p>・荒川放水路や玉川上水が完成した時を想定した新聞や瓦版</p> <p>・先人の演説原稿</p> <p>・先人に宛てた手紙 など</p>	<p>※先人の生き方が分かる言葉</p> <p>◇【知・理】先人の働きや苦心により、地域の人々の生活が向上したことを理解している。</p> <p>◇【技】調べたことや考えたことを工夫して作品にまとめている。</p>
ふかめる ⑨ ⑩	<p>○資料や地域の方の話から、先人の働きが今も地域の人々に大切にされていること、地域の人々の生活を支えていること、今の地域の礎となっていること等を読み取り、先人の思いや願いが今も生きていることをつかむ。</p> <p>○これからの地域をどのようにしていきたいか考え、自分の願いを表現する。</p> <p>例 ・先人に宛てた手紙</p> <p>・今の地域の人々に先人の働きを知らせるポスターや手紙 など</p>	<p>※今も使われる玉川上水・昔と今の道路計画図・今も働く荒川放水路と岩淵水門</p> <p>※水道局や東京都、土木事務所の人々の話</p> <p>◇【関・意・態】【思・判・表】先人の働き、思いや願いが今も生きており、今後も続いていくことに関心を持ち、これからの地域について考えている。</p>

つかむ段階

- ・今の自分たちとのかかわりを意識させた後でタイムマシンに乗るという設定で昔の資料を提示すると効果的である。
- ・吹き出しは人々の立場で思いや願いを考えるのに有効である。
- ・開発前と後の資料を示し、驚きや矛盾を呼び起こすと、途中で何があったかについて問題意識が高まる。

調べる段階

- ・時間的に遠いので、できごとなので、子どもが具体的に調べられるように視覚的な資料、体験活動、見学等を取り入れるとよい。
- ・どのようにしたか調べ、そこにこめられた努力や苦心、工夫、背景となる思いや願いを考えることで、先人の働きの意味を考えられるようにしていく。

まとめる段階

- ・「復旧にあらず、復興なり」「自分が生まれたときより、よりよくして残したい」のような先人の言葉に続けて学習問題のまとめをすると効果的である。
- ・作品作りをする場合は、ストーリーのある教材であること、どの立場で作るかを考慮して、どんな作品にするかを考える。

ふかめる段階

- ・先人の働きによって今があり未来に続いていくことを考えさせたい。

☆先人の働きや生き方に感動することが授業づくりのベースになります！